

平成25年山梨県観光入込客統計調査結果 概要

調査方法 ~観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査~ (平成22年4月より共通基準を導入)

観光入込客数調査・・・392地点(施設等301地点、行祭事・イベント91)
 ・自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館、ワイナリー等)、温泉、スポーツレクリエーション(公園、遊園地等)、都市型観光(農産物直売所等)、その他(道の駅等)、行祭事・イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査

宿泊客数調査・・・1,317施設
 ・観光庁が実施する宿泊旅行統計調査の結果を使用。

アンケート調査・・・3,337サンプル
 ・対面聞き取り方式
 ・四季毎に、年4回×県内10箇所調査

平成25年調査結果

山梨県観光入込客(実人数)は、2,967万8千人であり、前年比 + 8.5%

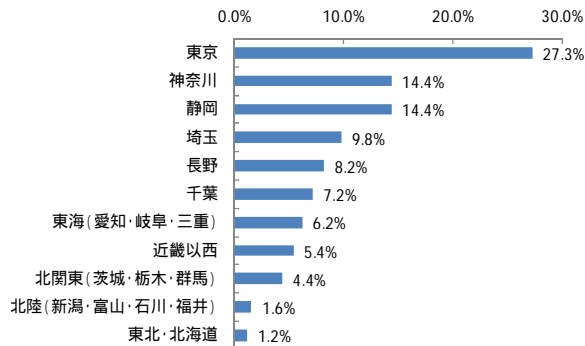
- ・日帰り客(実人数)は、2,315万7千人であり、前年比 + 9.6%
- ・宿泊客(実人数)は、652万1千人であり、前年比 + 4.9%
- ・県外客(実人数)は、2,212万人であり、前年比 + 8.7%
- ・県内客(実人数)は、755万8千人であり、前年比 + 8.0%

外国人延べ宿泊者数は、48万3千人であり、前年比 + 34.5%
 外国人に関しては観光庁宿泊旅行統計調査の数字を比較

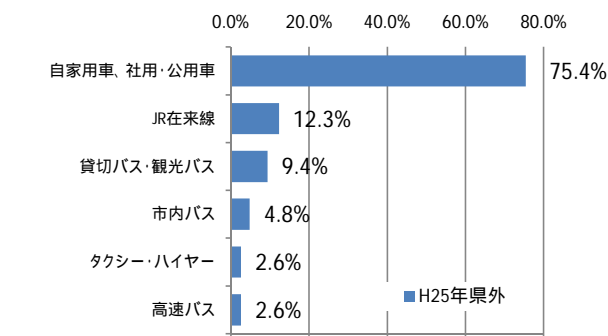
観光消費額は、県全体で、3,643億円であり、前年比 + 10.0%
 1人当たりの平均観光消費額は、12,274円であり、前年比 + 1.4%

~アンケート調査結果~

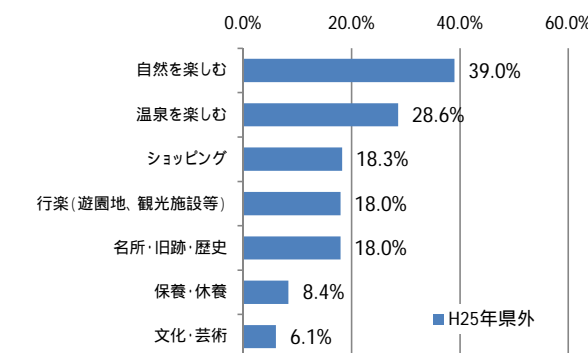
観光客の居住地
 来訪者の多い県は、東京都(27.3%)、神奈川県及び静岡県(いずれも14.4%)、埼玉県(9.8%)の順となっている。隣接都県からの来訪者は県外観光客の74.1%を占める。



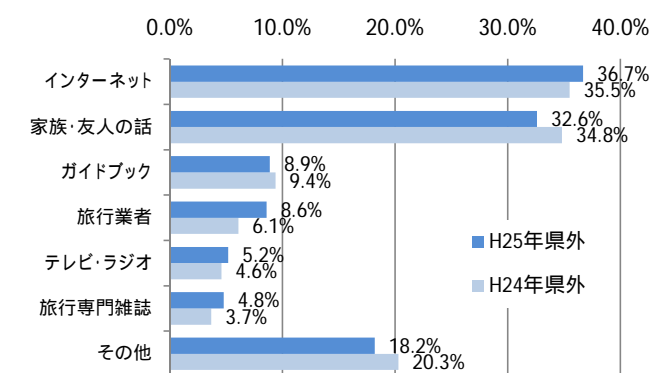
観光客の交通手段(複数回答)
 県外観光客の調査地点までの利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」(75.4%)が最も多く、次いで「JR在来線」(12.3%)と続く。



観光客の旅行目的(複数回答)
 県外観光客の旅行目的は「自然を楽しむ」(39.0%)が最も多く、次いで、「温泉を楽しむ」(28.6%)と続く。



旅行計画の参考資料(複数回答)
 県外観光客の旅行計画の参考資料は「インターネット」が36.7%と最も高く、次いで「家族、友人の話」が32.6%と続く。

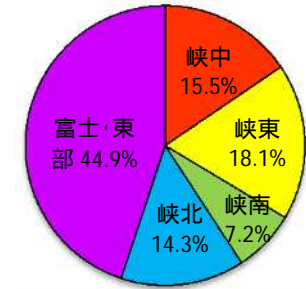


圏域別の比較(実人数)

全ての圏域において、平成24年から3%以上増加した。

- 峡中は459万人であり、前年比 + 3.8%
- 峡東は537万8千人であり、前年比 + 3.0%
- 峡南は214万8千人であり、前年比 + 5.0%
- 峡北は423万7千人であり、前年比 + 8.1%
- 富士・東部は1,332万5千人であり、前年比 + 13.5%

【圏域別 構成比】



月別の比較・分析 ~平成23年・平成24年と平成25年の比較~

~月別観光入込客数(実人数)~

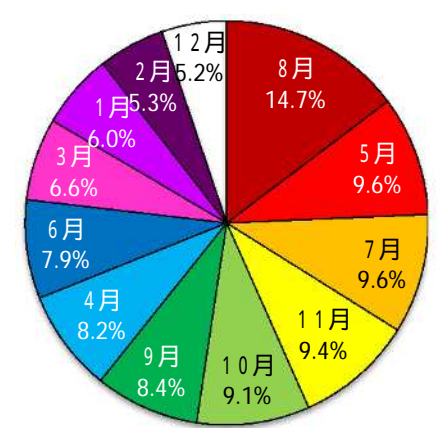
平成24年と比較して、8.5%の増加となった。平成23年と比較して、26.0%の増加となった。月別の観光入込客(実人数)では、8月が437万人(構成比14.7%)と最も多く、次いで5月の285万人(同9.6%)となっている。富士山の世界文化遺産登録の効果が依然として大きく、富士・東部を中心に、自然を目的とした入込客の増加がみられた。

【月別 3か年比較】

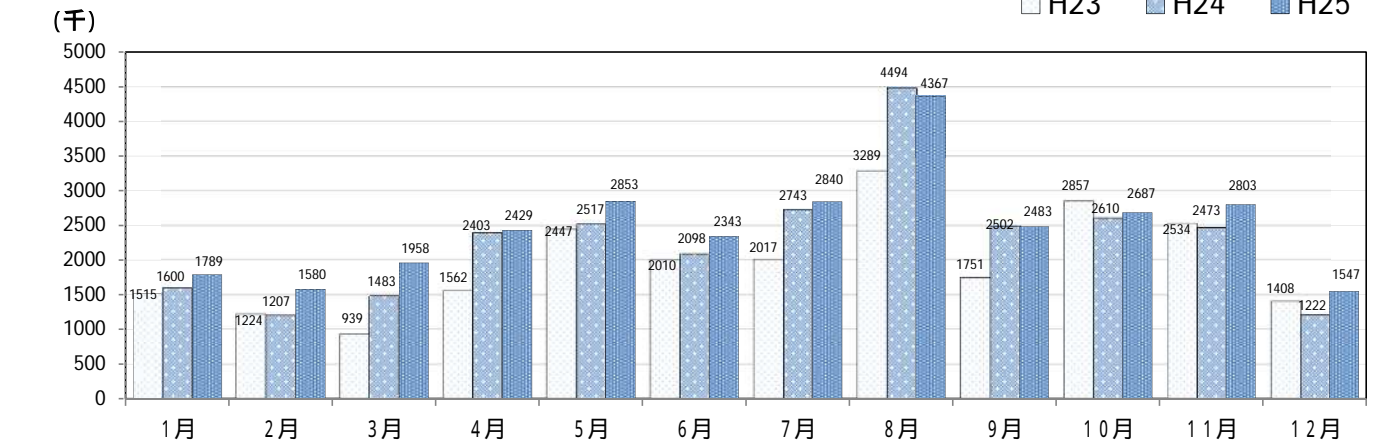
(単位:人、%)

項目	平成23年	平成24年	平成25年	対前年比	対前々年比
1月	1,514,898	1,599,975	1,789,395	111.8%	118.1%
2月	1,224,127	1,206,782	1,580,109	130.9%	129.1%
3月	938,975	1,483,243	1,957,557	132.0%	208.5%
4月	1,562,195	2,402,975	2,429,422	101.1%	155.5%
5月	2,447,313	2,516,816	2,852,782	113.3%	116.6%
6月	2,010,492	2,098,208	2,343,116	111.7%	116.5%
7月	2,017,148	2,743,076	2,839,956	103.5%	140.8%
8月	3,288,728	4,493,550	4,366,908	97.2%	132.8%
9月	1,751,124	2,502,374	2,483,176	99.2%	141.8%
10月	2,856,799	2,609,626	2,686,868	103.0%	94.1%
11月	2,534,313	2,472,802	2,802,535	113.3%	110.6%
12月	1,407,888	1,221,572	1,546,613	126.6%	109.9%
年計	23,554,000	27,351,000	29,678,000	108.5%	126.0%

【月別 構成比】



【月別 3か年比較】



~月別の傾向~

2月、3月は県内全エリアで入込が大幅な伸びを示すなど好調であった。中央自動車道の通行規制が全面的に解除されたことや気温、日照等の好天候などが影響したとみられる。
 5月~7月は、富士山・富士五湖エリアの入込が大幅な伸びを示すなど好調であった。世界文化遺産登録に伴う富士山人気の高まりなどが影響したとみられる。
 8月、9月は、県内全エリアで低調であった。猛暑日が続いたことや台風の直撃、ガソリン価格上昇などが影響がみられる。
 10月、11月は、夏季の入込客数減の反動もあってか、好調であった。引き続き富士山人気の高まりの他、気温、日照等の好天候などが影響したとみられる。
 12月は、中央自動車道より線笠子トンネルでの天井板落下事故により大きく減少した前年から回復し、県内全エリアで入込客数は大幅に増加した。